

# 2019 年度事業計画書

(2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日)

健康科学ビジネス推進機構

# 2019 年度事業計画

(2019 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日)

## I. 基本方針

### 1. 当機構のこれまでの取り組み

- 当機構は、2012 年 10 月の発足以来 6 年にわたり、エビデンス（科学的根拠）に基づく製品・サービスの普及、ビジネス創出を目指し、産学官医の共同プラットフォームとして、健康科学分野において先駆的な活動を重ね、一定のご評価を頂いて参りました。

<b>エビデンス構築支援</b>	エビデンス構築支援評価の結果 3 件のエビデンス評価マークを交付し、製品サービスの普及に活用頂いております。 広報啓蒙の結果エビデンスの重要性について一般の認識も広まり、「エビデンス」という言葉も定着して参りました。
<b>ビジネス創出・推進支援</b>	「健康科学ビジネスベストセレクションズ」として健康科学分野における優れた製品・サービス、研究開発・取り組みを、全 4 回のべ 66 件選出致しました。毎回、選出事例を紹介する冊子を刊行し、累計 5,000 部刊行しております。 また「子どもウェルネス事業化コンソーシアム」など、ビジネス創出を目指す事業化コンソーシアムを組成運営しております。
<b>人材育成・普及啓発等 その他支援</b>	専門人材を育成する「ohsbi 健康運動セミナー」、健康科学と産業連携の未来を創造する「産学連携ヘルスケアナレッジセミナー」など、セミナー・イベントを多数開催致しました。 新たな社会課題解決の仕組みソーシャルインパクトボンドの組成に、2016 年度、取り組みました。

- 2019 年 3 月現在、一般会員（28 社）、特別会員（50 機関）でございます。

### 2. 健康科学分野を取り巻く環境と直近の状況

- 当機構の発足以降ここ数年来、行政や経済団体などによる健康科学分野におけるビジネス創出の様々な取り組みがスタートし、重複・類似するものが多数生まれ、必ずしも当機構に依らずとも、健康科学分野における情報発信やビジネス創出が可能な環境が整ってきました。

健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス(～2019)	健康指標開発など	理化学研究所、神戸市・兵庫県
大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム 健康産業創出システム構築支援事業(～2019)	表彰、有望事業発掘・ 事業化支援など	大阪府商工労働部
関西ウェルネス産業振興構想		京阪神 3 商工会議所

(表は関西における代表的な取り組み事例)

- 政府の「未来投資戦略 2018」では、AI・ICT などの技術革新を健康医療においても積極的に導入・活用し「次世代ヘルスケア・システム」を構築することが謳われています。また、2025 年大阪・関西万博が決定し、大阪・関西が世界に誇るライフサイエンスを新たなイノベーションで更に発展させることが期待されており、健康科学分野は、これからも社会の大きなテーマとなっていきます。

### 3. 2019年度の取り組み方針

- こうした状況を鑑み、2019年度は当機構の活動を大きく見直す時期であると考えます。
- 会員企業の関心が比較的高い「ビジネス創出・推進支援」に焦点を合わせて、関西経済連合会や関係機関と連携し相乗効果を発揮できる分野へ活動を絞り込んで参ります。
- 活動の見直しにあたって、その間の一般会員の会費負担を無くし、主な事務局機能を関西経済連合会で担うなど、体制の簡素化も図ります。
- これまで当機構の活動にご支援・ご協力頂いて参りました会員の皆様には、ビジネス創出・推進支援や普及啓発などの活動への、引き続きのご参画をお願い致します。

## II. 活動計画

### 1. ビジネス創出・推進支援

- 健康関連産業の創出や健康経営への機運醸成に向けたセミナーや研究会を、関西経済連合会や関係機関とも連携して企画・開催します。

健康科学分野の最新動向や先進事例の情報発信	2018年度に開催した「未来のヘルスケア産業を考えるシリーズ講演会」の流れを受け、健康科学分野で注目を集める新領域や、健康経営、最新の政策動向などの情報提供を目的としたセミナーを、年3回程度、企画・開催します。
事業化コンソーシアムの支援	産学共同して事業や商品の開発に役立つ知見を得る為、子どもウェルネスや他のテーマについて、ニーズに応じて事業化コンソーシアムの支援に努めて参ります。  「子どもウェルネス創出事業化コンソーシアム」を2018年度に引き続いて開催し、最新の知見についてのセミナーや、生活者と共に共創する場でのディスカッションなどを、年5回程度に企画・開催します。  これまでどおり参画企業や一般参加者から都度参加費を頂く方式とし、理化学研究所・健康“生き生き”羅針盤リサーチコンプレックスや都市活力研究所などの関係機関と連携し、参画企業を中心とした企画・運営体制に移行します。

### 2. 普及啓発等、その他支援

- 健康科学分野における会員の取り組みや「健康科学ビジネスベストセレクションズ」選出者についてフォローアップに努めホームページや冊子などで紹介する他、全国のヘルスケア協議会や関係機関と連携し、関連情報をメールマガジンなどで適時発信します。

### 3. エビデンス構築支援

- エビデンス認証評価や健康科学ビジネスベストセレクションズなどの活動により、エビデンスの重要性についての一般の認識も広まって参りました。新たな構築支援については一時休止致します。
  - 尚、これまでに、エビデンス評価認証された事例については、無償で引き続きエビデンス評価マークを使用して頂き、製品・サービスの普及に活用して頂きます。

## III. 今後の展開

- 健康寿命延伸への取り組みや、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」「2025年大阪・関西万博」など世界から注目されるイベントを睨んで、関係機関の取り組みと連携して、当機構のこれまでの成果を活かす方向を探り、会員の皆様のビジネス創出や研究活動に資するセミナー・交流会や、会員の皆様の取り組みの情報発信の機会を創出して参ります。